

内部統制改めて整備を

— IFRSを使う企業が
増えています。市場の視点に
立つことのような意義がある
でしょうか。

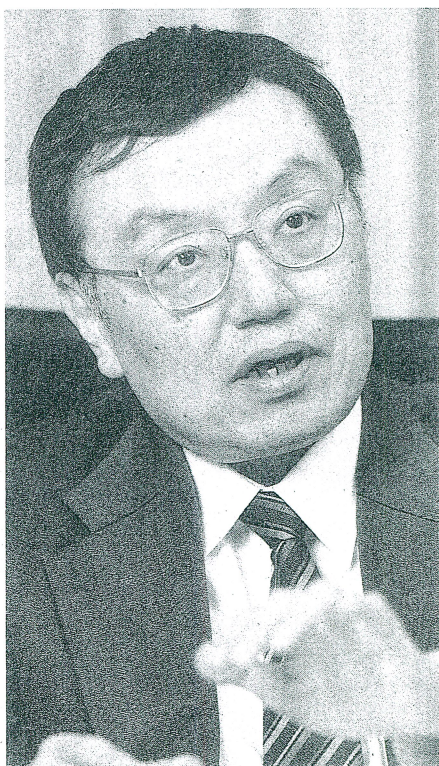
「今年是企业統治（コーポ
レートガバナンス）改革の元
年ともされ、社外取締役の導
入などが一気に進んだ。資産
効率を考慮して自己資本利益
率（ROE）を重視する企業
も増えた。日本企業の経営者
と投資家が緊張感をもって向
き合い、会話をする環境が整
いつつある」

「時価会計の要素が強いた
め、資産価格の変動に対する
経営者の説明責任が強まる。
株式の持ち合い解消が進んで
いるのも、説明できない資産
は持ちにくいという意識が企
業の間で強まっているからだ
と伺っている」

「この動きは、どこまで
進むと見えていますか。
」2015年6月19日時点
でIFRSを使ったり、使用
を検討したりしている企業は
100社余りで、それらの企

野村証券シニアストラテジスト

野村 嘉浩氏



のむら・よしひろ 慶応大卒。日本企業の分析などを経て98年か
ら会計制度を担当。企業会計基準委員会の委員も経験。55歳。

共通のモノサシ望ましい

業の株式時価総額は市場全体
の25%超の水準に達する。今
後、米会計基準を使っている
企業がIFRSを使おうように
統一するために使うという流
れは自然なことだ」

「もっとも『のれん』の償
却がなくなるなどが動機
になっている点も否定はしな
い。日本基準との差異は少な
くはないです」

「金融庁の分析レポートの
言葉を借りれば、IFRSを

使う理由で一番大きいのは
『経営管理への寄与』だ。企
業が海外子会社と会計処理を
統一するために使うという流
れは自然なことだ」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」

「『のれんを償却すべきだ』
という声も一部の企業経営者
の間から聞こえる。しかし、
世界的には、買収企業の価値
を検証する『減損テスト』を
改善するという問題意識が主
流だ。あくまで減損が基本で、
その中で簡便的に定期償却を
認めるという発想だ。償却が
絶対に正しいという考えに固
執するより、こつした議論に
も耳を傾けたほうが建設的な
議論になる」

「東芝のように不適切会
計に揺れる企業もあります。
会計だけで市場の信頼を得る
のも難しいですね。
」どんな会計基準であれ、
それを適切に適用するための
内部統制や監査の体制を、あ
らためて固める必要性もある
だろう」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」

「『のれん』の償却がな
くなるから、IFRSを使う
企業は買収をしやすくなると
言われます。少し安易な考え
ではないですか」